

「年末年始の交通安全運動開始式」で那覇署等と啓発 ～街頭で「飲酒運転根絶」や「交差点通行時の注意点」を呼びかけ～

日本損害保険協会沖縄支部（委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、12月19日（木）にパレット市民劇場（那覇市）で開催された、年末年始の交通安全運動開始式に参加し、その後、飲酒運転根絶や交差点通行時の注意点等を街頭活動にて市民の方々に呼びかけました。

開始式では、那覇市交通安全市民運動推進協議会 知念 覚 会長（那覇市長）から、「飲酒運転は極めて悪質で危険な行為であり、取り返しのつかない悲劇を生むことを強く認識しなければならない。地域、職場、家庭で飲酒運転根絶の機運を高めてほしい。」と挨拶があり、那覇警察署 知念 克幸 署長からも、「年末年始の時期は年中行事やイベントが多く、事故や事件の発生が懸念されるため、飲酒運転の検挙は勿論、交通事故防止についても施策を強力に推進していく。事件・事故のない那覇地区の実現に向け、引き続きのご協力をお願いします。」と挨拶がありました。その後、飲酒運転根絶等に関する交通安全宣言が行われました。

式典終了後、当支部は、那覇警察署や那覇地区交通安全協会等とともに、歩行者にチラシ等を配布し、「STOP! 飲酒運転」や「交差点での事故に注意!」等を呼びかけました。

沖縄支部では、那覇警察署をはじめとする、沖縄県警察や関係機関とともに、交通事故防止の啓発等を通じて、地域の安全・安心向上に資する活動を実施してまいります。



知念協議会会長からの挨拶



知念那覇警察署署長からの挨拶



街頭活動の様子



配布した啓発物